

## 平成27年度 第4回市長タウンミーティング概要

と き：平成27年4月19日(日)  
午後2時～3時30分  
ところ：南公民館  
参加者：87人

### ○市長あいさつ

(市長より、平成27年度の施策・予算についての説明が行われました。)

### ○意見交換

#### 質問(女性)

「コンパクトシティ蕨」将来ビジョンの施策のなかで、胃がん検診の個別検診化とありますが、検診は、市外のかかりつけの医療機関でも受けられますか。

#### 回答(市長)

胃がん検診の個別検診化は、市と蕨戸田市医師会が協定を結び実施するため、実際に検診を受けるときは、蕨戸田市医師会所属の指定医療機関での個別受診となります。また、健診の申し込み方法や実施医療機関など詳細な情報については、6月中旬頃、対象となる市民の方全員に個別受診案内通知を送付いたしますので、そちらをご参照ください。

#### 質問(女性)

地域で親しまれていた銭湯が火事でなくなってしまいました。跡地にはマンションを建設し、銭湯の再開予定はないそうなので、近隣の戸田市にある銭湯でも福祉入浴券を利用できるようにしていただけないでしょうか。

#### 回答(市長)

福祉入浴サービス事業については、市と埼玉県公衆浴場業生活衛生同業組合が協定を結び、自宅に入浴設備がなく公衆浴場を利用する65歳以上のかたや市民税非課税世帯の70歳以上のかたを対象に福祉入浴券の配布を行っています。また、公共的な役割を担う側面もある銭湯に、より多くのかたに足を運んでいただくという意味でも配布を行っています。そうしたなか、この事業を一

部負担していただいている同組合の方針で、対象は市内の銭湯となっておりますが、現状を踏まえ、限定的に近隣の銭湯を利用できないかなど、組合と議論をしていきたいと思えます。

### 質問（男性）

ボランティアは無償とっており、それが社会貢献活動と思っておりますが、託児などのボランティアは有償です。それはそれでありがたいことと思うのですが、例えば介護の有償ボランティアは、これから高齢化がますます進む中で、ポイント制にすれば、費用の抑制や社会貢献の循環にもつながると思えます。そうした制度を作っていくことがたいせつではないかと思えます。

### 回答（市長）

市内では、市民の皆さんによって、清掃活動ほか、さまざまな善意の活動をしていただいているところですが、そうしたことこそが、まさしくボランティアであると思っております。

一方で、子どもの面倒を見たり、高齢者の介護を支援していただくボランティアについては、いくらかの報酬を出したほうが、依頼者も気兼ねなく頼めるなどの背景から、最近では有償ボランティアという言葉が認知されるようになってきました。市でも、無償と有償のボランティアを組み合わせ、状況に応じて適宜利用することが有効だと考えています。

いただいたご質問のように、介護支援活動に取り組み、ポイントを貯め、介護が必要になった際にはそのポイントを利用できるという、いわゆる介護ポイント制のようなしくみを始めた自治体もあります。また、2025年を目途に団塊の世代の皆さんが75歳以上となり、介護の需要の高まりが見込まれているため、地域包括ケアシステムの構築が求められるようになりました。そうしたなかで、介護事業者だけでなく、高齢者を含め元気な方に支える側に立つてもらうことが、いっそう重要になっていきますので、ポイント制度や有償ボランティアについては市でも更なる検討をしていきたいと思えます。

### 質問（男性）

75歳以上の後期高齢者を対象に、健康功労制度を創設していただけないでしょうか。具体的には、一年間にわたって、健康で、定期健診などを除いた医療機関による診察を受けなかった人に、医療費の観点から市の費用負担の減少

に貢献したと考え、賞状や賞品を授与する制度を創設してほしいと思います。

### **回答（市長）**

高齢化が進むなか、適度な運動や正しい食生活、生涯学習の取り組みの推進などによって、皆さんに健康的な生活を送っていただくことは大切なことです。そして、皆さんの健康寿命を延ばす取り組みも重要だと考えています。ご提案いただいたような取り組みを行っている自治体もある一方で、医療機関にかかりづらくなるなどの議論もあります。そうしたさまざまな配慮が求められるなかで、医療や介護の施策については、今後も問題意識を持って取り組んでいきたいと思っています。

### **質問（女性）**

教育委員会が平成元年に城址公園の入り口に設置した看板は、内容が見えづらかったり、情報の更新が必要だったりする状況です。また、その他の看板につきましても、市内案内、安全面の観点などから点検をしていただけないでしょうか。

### **回答（市長）**

具体的にご提示いただいた看板、その他の看板につきましても、安全にかかわる物はもちろん、内容の更新などについては、限られた財源のなかで、全体の優先順位などを勘案しながら検討していきたいと思っています。

### **質問（男性）**

各自治体がふるさと納税のお願いに力を入れているところですが、皆さんから寄附を募るための市の今後の取り組みについて、考えを教えてください。

### **回答（市長）**

全国的に、ふるさと納税の返礼品への注目が、過熱しているといえるほど集まっているなか、寄附金額から2千円を除いた一定額の住民税・所得税の控除の限度額が倍に増額されたり、手続も簡素化されたりしています。そうしたなか、「コンパクトシティ蕨」将来ビジョン推進プランでも、ふるさと納税の推進を課題としており、対応を検討していきたいと思っています。

なお、平成26年度の実績では、納税額は県内で高いほうではありますが、件数については少なかったため、市外のかたなどにも蕨の魅力をより知ってい

ただいて、まちづくりに賛同をいただき、寄附をしていただけるよう、ふるさと納税のお願いについては今後も問題意識を持って考えていきたいと思ひます。

### **質問（男性）**

先程、ふるさと納税の話題があがったところですが、現状では納税の件数が少ないので、返礼品などを含めて早急に対応を考えてほしい。

### **回答（市長）**

全国的には、姉妹協定を結んだ相手自治体の特産品までも返礼品とする自治体が出てきたなか、災害協定を結び、その後も交流が進む栃木県大田原市の特産品である大田原牛のほか、市内企業のご協力やマスコットキャラクターを活用した返礼品や各種体験企画を用意するなど、現状を踏まえながら、あらゆる可能性について検討を重ねていきたいと思ひます。

※ご質問いただきました内容に関して、担当課の確認など、その場でお答えできなかった内容を、加筆・修正して公開しています。